

# 浄者神奈川



大本山光明寺法主宮林昭彦台下御染筆



会長挨拶	2
夏見教区長・北邨教化団長挨拶	3
宗祖法然上人800年大遠忌記念八百礼拝報告	4
各組紹介	6
精進道場報告・予定	8
大遠忌念仏行脚報告・インタビュー	9
事業報告	10
卒業・新入会員紹介	11
平成23年度事業計画	12

第20期テーマ

## 「精進不断」

～受け継ぎ、伝えてゆくために～

第18代会長 當間 伸行

神淨青第二十期がスタートして、はや一年が過ぎました。教区内諸大徳には多大なるご支援を賜り、また会員の皆様には、各事業へ積極的にご参加をいただき、心より厚く御礼申し上げます。

今期はテーマ「精進不断」を受け継ぎ、伝えてゆくために掲げております。浄土宗教師である我々が、法然上人のみ教えを受け継ぎ、お伝えしていくためには、浄青活動を通じて自己研鑽し、宗教者としての素養の幅をひろげることを第一の目標と考えております。

昨年度は、研修会「精進道場」を開催いたしました。宗乗の講師に当会OBの慶野匡文先生をお迎えし、「浄土宗教師の責務」と題して、我々が浄土宗教師としてふまえておくべきこと、お伝えしなければならぬことについて、情熱あふれるご講義を頂戴しました。

平成二十三年二月七日には、法然上人八百年大遠忌記念事業「八百礼拝」を、大本山光明寺様にて開催いたしました。今期の目玉事業のひとつで、山本副会長を中心に準備運営にあたりました。会員・OBあわせ七十八名が参加し、礼

拝を八百回おつとめました。ひとりでは出来ないことが、皆と一緒なことで達成出来たと思います。浄青活動による仲間意識の向上が、今期のもうひとつの目標です。現在そして未来も一致団結して、浄土宗の教えを発信していきたいと



## 「精進不断」

～受け継ぎ、伝えてゆくために～

第20期浄土宗神奈川教区青年会

第18代会長

當間 伸行

さて、今年度の事業内容ですが、昨年度に続き「精進道場」を開催いたします。宗乗の講師に大正大学専任講師の曾根宣雄先生をお迎えし、法然上人のみ教えをどのようにに現代社会へ発信してゆかかご講義を頂戴いたします。三月十一

信徒の皆様だけでなく会員自身も参加したことを有意義に感じていただける内容にしたいと思っております。

平成二十四年三月には、大遠忌記念事業「御遺跡参拝」を実施いたします。森本副会長を中心に企画しており、参拝先は近畿地方を予定しておりますが、状況により行先を再度検討したいと思っております。

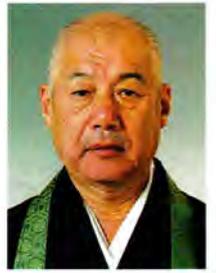
今年度より八名の会員が入会され、会員数は二名増の百二十二名となりました。事業内容の充実だけではなく、参加してよかった、また参加したいと思っていただけでも、温かい雰囲気づくりにもつとめます。

東日本大震災に対し、救援活動にも力を入れてまいります。まず托鉢を教区内各地で行い、集まった浄財を被災地支援に役立てます。さらに、我々が出来ること、すべきことは何か、皆で模索していきたいと思っております。

末筆ながら、引き続き、教区内諸大徳のご指導ご鞭撻と、会員の皆様の一っそうのご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

一月二十七日から三十一日まで、浄土宗主催「念仏行脚」の一行を、神奈川教区の指揮のもと六十九名の会員並びにOBにてサポートいたしました。各組浄青がコースの選定や情報収集、人員の確保にあたり、人材の充実と団結の強さを感じました。

日に発生した東日本大震災によって人心が動揺している今、この研修を通じ、会員ひとりひとりが、さらに積極的に念仏の教えを発信していきたいと考えております。十一月二十六日には、「大別時念仏会」を開催いたします。実行委員長に中郡組吉田健一会員が就任し、準備を進めております。檀



## 東日本大震災に思う

神奈川教区教区長 夏見邦夫 上人

テレビのCMでは、「心は誰にも見えないけれど、心づかいは見える」「思いは見えないけれど、思いやりは誰にでも見える」とある。日頃のおはようやありがとう、お陰さまで等の言葉も心の中で言っているだけでは相手には通じない。

我寺の法事の時、檀家さんの同称十念がほとんど聞こえない。私の加齢の為、耳に届かないのかと外陣を見る。合掌はしている、口も動いている、しかし聞こえない。いつも、「今一度」と、促しもう一度お称えをする。日頃の自分の教化の至らなさを反省しつつ、「自信偈」を己自身の為に唱える。

予期せぬ事に三月十一日、大災害が東日本を襲った。地震国日本の宿命とはいえ、マグニチュード9.0の大地震、それによる大津波、原子力発電所の放射能の汚染。生まれ育った山河に祖霊がましますという宗教的な考えと共に、何十年何百年と慣れ親しんだであろう郷土を離れなければならなくなつた人々の気持ちは、如何なるものであろうか。

神奈川の地で、快適な生活を当たり前と思ひ、光や水や暖かさを至極当然と思つていた。

頭の上の象、足元の大蛇、黒白のネズミ。明日の日が判らぬのに蜜の甘さに酔いしれている自分。この戒の比喩は、今までの私そのものではないだろうか。報道による被災地の様子から、改めて考えたことだ。

被災者の方々の忍耐と助け合いの姿は、浄土宗が大切にしている共生きの在り方を、多くの人々から身を以つて示して頂いている。

今年法然上人八百年大遠忌の御正當の年である。上人のみ教えは八百年たった今も風化されず輝びたが、法要だけでない導きを頂いている。

被災にて亡くなられた方々のご冥福を祈りつつ、念仏を通じて他力の教えの有り難さを再認識させて頂いた。

浄青の皆様は常に情熱を秘め広い分野にて行動されているが、今後とも神奈川教区の大事な柱として活躍をお願いします。



## さて仏教に出番は来るか？

神奈川教区教化団長 北邨賢雄 上人

東日本大震災が発生して以来、様々なことを考えさせられた。今まで最先端の文明を謳歌してきた日本人が、本気で現代文明への自己批判を始めたのは歓迎すべきことと思う。特に福島第一原発事故は人災であるという見方が圧倒的で、終息の見通しは立たず、避難者の怒りは増し、さらには、この夏の電力不足予想に対し、工場や事業所の節電対策が連日報道され、原子力発電所の廃止に世論は動いています。政府の復興構想会議で梅原猛氏は「文明の転換」ということに言及されましたが、原発こそ「行き過ぎた文明」の象徴と言えるでしょう。

この機会に、単に東日本の復興だけでなく、文明論について徹底的に議論を繰り広げて欲しいものです。

さて、数十年も前から、世界中の心ある人々は地球環境の悪化を憂え、東洋思想とりわけ仏教が現代文明を救うと言われてきました。いつしか人類は「万物の霊長」となり「神をも超える」というような畏れ

を知らぬ存在となつてしまいました。地球はこの欲望の奴隷となつた人類により支配され、自然を破壊され、種を絶滅させられ、生態系を狂わされ、大気を汚され、宇宙はゴミ箱と化しています。同時にその行為が、人類自らの首を締めているのが滑稽でもあります。地球はすでに重病で手術をして治る保障はありません。

改めて言うまでもなく、法然浄土教は仏教の総決算と信じていますが、仏教の輪廻思想に基づくであろう「山川草木悉有仏性」と「草木国土悉皆成仏」がキーワードになると思われます。ここに表現される生命観と宇宙観は、人類は動植物と同類、即ち「一切衆生」であることを認識させ、さらには山も海にも畏敬の念を呼び起こさせます。今回の大震災を契機に日本人も眼を覚まし、仏教の思想に振り向いてくれるはず。どうか浄青諸氏には法然浄土教が日本と地球を救うとの気概をもって教化に邁進されますよう念願を致します。

精進  
不断

宗祖法然上人

# 八百礼拝

大本山光明寺

800年大遠忌記念



去る、平成二十三年二月七日、第二十期神淨青の法然上人800年大遠忌の記念事業のひとつであります「八百礼拝」を大本山光明寺に於いて開催いたしました。

当日は天候にも恵まれて、二月とは思えない穏やかな日差しの中、会員、OB併せ七十八名、御来賓二名の参加を頂き、午後三時に開会し、皆様の協力のおかげで予定通り午後九時に無事円成となりました。

開会式では、大本山光明寺執事長谷川昌光上人、神奈川教区教化団長北邨賢雄上人からお言葉をいただきました。

礼拝中は當間会長が導師、森本副会長と私で協導師をつとめ、百礼ごとに担当組会員が式衆として内陣に入り礼拝を行いました。私自身休憩を挟みながらとはいえ、こんなに多くの礼拝をした経験がなかったため、本当に最後まで勤めることが出来るのか不安に思う部分もありま



したが、礼拝が始まると、暗い中に灯明の光で浮かび上がる阿弥陀様のお姿、そして室内に響きわたる念仏の声に引っぱられ、後押しされるように何とか八百回の礼拝を勤めあげることが出来ました。また多くの参加者が八百回の礼拝を成満され、皆で共に一体感と充実感を感じることが出来たと思っております。

「八百礼拝」は、當間会長が今期のテーマを決める以前から是非開催したいと言っていた事業でした。まさに今期のテーマ「精進不断」、そして第二十期のカラーが一番出ている事業のように思っております。担当副会長として力不足でしたが、執行部をはじめ、多くの皆様にご協力、お力添えをいただいて無事円成することが出来ましたことを、あらためまして御礼申し上げます。そして参加頂いた皆様にとって心に残る事業であつたら幸いです。

八百礼拝担当

副会長 山本宗純

## 『京浜組』 会長 古屋 道正

昨年度は800年大御忌正当に因み、御忌別時會並びに『法然上人御一代記』のパネルシアターの研鑽を行って参りました。研鑽に先立っては、浄土宗総合研究所研究員、後藤真法上人によるパネルシアターの研修會、佐々木敬易法式教師による御忌別時會での礼拝、唱札の音声等のご指導を仰ぎ、會員一同、法然上人のご遺徳を讃え、活動して参りました。会趣は、持ち回りとし、初めて何う寺院もあり、會員相互の認識も深まりました。パネルシアター実演者は、会趣寺院となる會員が務めました。実演回数を重ねるごとに、演じ方に工夫が見えてきました。期首に八万遍の念仏、八百札の礼拝を研鑽の為の目標といたしました。今現在、一万三千遍、千百六十札まで努めてきました。

平成23年度の活動は、昨年度の事業を継続して参ります。ひとつのテーマを練磨して、完成度の高いものとしていきたいと思っております。そして、今期の集大成として、組浄青での800年御忌會開催を計画しています。檀徒を招き、パネルシアターを実演し、共にお念仏を称えて法悦を賜りたいと存じます。

林田成徳さんを新入會員に向かえ、京浜組青年會員12名、精進努力して参りたいと思っております。どうぞ宜しくお願いします。



パネルシアター（法然上人御一代記）



法式研修會

## 『港北組』 会長 柴田 文彦

私が港北組青年會會長に就任し早1年。お陰様で何とか1年目を務めさせていただくことが出来ました。

事業報告としては、昨年度4回の研修會を行い、塩澤智彦先生による法式の勉強會を行いました。また、毎年恒例となっている港南組青年會との家族親睦會も開催することができ、ほぼ昨年度の計画通りの事業が行え、充実した活動が行えたと思っております。

また、今年度からは森大悟君と横川幸俊君の2名の新入會員を迎えることになり、計15名の會員で今年度の事業を行っていきたくと思っています。事業計画としては、昨年度に引き続き研修會を4回予定しており、年齢を重ねてからは学びにくい青年會ならではの研修會を予定しています。港南組青年會との家族親睦會は東日本大震災の影響により延期となりました。

その震災の復興も始まったばかり、港北組青年會、あるいは神浄青においても、會員皆で協力し合い、出来る限りの支援をしつつ、宗祖の800年大御忌の年でもある今年度の活動に精進していきたくと思っています。

# 各組紹介

## 『港南組』 会長 伊藤 知道

今年度港南組浄青會は、會員数14名で活動して参ります。

昨年度は、今期1年目という事で、各事業を手探りで行ってきました。至らない所ばかりで、會員の皆には、御迷惑を懸けた1年であったと共に、皆さんの協力・補助を改めて、有難いと感じた年でもありました。

昨年度の事業と致しましては、鎌倉組青年會と合同の「勅伝講読會・法式研修會」、港北組青年會と合同の「家族親睦會」、塩澤智彦先生による「法式研修會」、會員寺庭婦人の皆様の「港南浄青寺庭婦人親睦會」、そして「他宗団見学会」、以上の事業を行って参りました。

その中でも「他宗団見学会」は、日蓮宗大本山本門寺様・真言宗智山派大本山平間寺（川崎大師）様・時宗総本山清浄光寺（遊行寺）様の三總大本山を廻り、とても良い勉強をさせて頂きました。

今年度は、昨年度の各事業を引き続き行って参ります。それに加えまして、「法然上人800年大遠忌法要」を港南組住職方と合同で厳修する事と、會員の中に住職である者が増え、寺院會計の仕方を学ぶ機会が欲しいとの要望から、「税務講習會」、また「港南浄青新聞」冊子の発刊をする予定です。

また、今年度の港北組青年會と合同の「家族親睦會」は、昨今の情勢を鑑み、港北浄青會長と相談した結果、中止とさせて頂きました。「家族親睦會」の助成金を東日本大震災の義援金にさせて頂きます。今年度もよろしくお願い致します。



他宗団見学会（川崎大師にて）



カウンセリング研究会

## 『高座組』 会長 戸田 順教

平成22年4月に宮腰上人が御遷化されました。益々の活躍を期待していただけに、残念でなりません。合掌 南無阿彌陀仏

平成23年度は、4月21日に総會が開かれ、鷲見宗信上人が新たに入會されました。高座浄青發展のため、お力添え頂けることに感謝いたします。

さて、昨年の夏、自坊のPCが故障致しました。原因ははっきりしませんが、普段使用しているときから小さな傷がPCの内部に付き、それが積もって故障したのかも知れません。しかし、その傷は外部からはわかりませんでした。

PCは人間を模写して造られています。従ってPCに起こることは人間にも起こりえます。PCは故障すれば買い換えればすむかもしれませんが、人間はそうはいきません。心についた傷は一生残る場合もあり、時にはそれが致命傷になるときもあるでしょう。お互いに、傷つけないように、傷つかないようにしたいものです。

高座浄青では、昨年度に続いてカウンセリングを学んで参ります。同様に、法式・詠唱研修會も継続して研鑽して参ります。

愚者が愚者でとどまらず、常に反省し、ひとりひとりが自分の能力にあったベストを尽くして参りたいと思っております。

## 『鎌倉組』 会長 岳瀬 弘昌

鎌倉組では、柴田先生を講師に「勅修法然上人御伝」講読会を、港南組さんと合同で定期的に行い、法式講習会、年末托鉢を行いました。

また、教区長杯争奪ソフトボール大会を担当しましたが、あいにく当日は雨となり、ポウリング大会となりましたが、鎌倉組一丸となり、準備できたことが良かったと思います。

色々、不手際があったと思いますが、無事開催できたことは、皆様のおかげと感謝申し上げます。

また、800年御忌念仏行脚のお手伝いをできたこと、とてもうれしく思います。

今年度は、前年度同様「勅修法然上人御伝」講読会、法式講習会、年末托鉢を行うとともに、研修旅行を計画しております。今年度もどうぞ宜しくお願いします。



鎌倉組担当ソフトボール大会

## 『三浦組』 会長 清水 道善

みなさん、こんにちは。三浦組です。

今期の事業は7月の富士登山と11月の教区長杯ソフトボール大会です。

富士登山は第3週目の平日に日帰りで行います。朝5時にこちらを出発して8時に吉田口5合目から登りはじめます。自家用車の規制のない時期ですので、みなさんの5合目駐車場からの合流大歓迎です。もちろん三浦組の車への同乗も歓迎します。その際は交通費などの請求は致しません。ただ三浦のノリに付き合ってください。参加を希望される方は、三浦組の知り合いに声をかけてください。詳細はこちらから連絡させていただきます。参加をお待ちしています。

もうひとつの事業、教区長杯ソフトボール大会は11月28日月曜日です。毎年のごとく会場等この時期の決定は出来ていませんが、みなさんの記憶に残るよう三浦浄青を挙げて頑張らせていただきますので楽しい親睦の1日を過ごしましょう。

3月の震災以降、浄青でも救済対策などの会議が持たれていますが素人の手が出るレベルは超えています。まずは自坊の仕事をしっかりやって、お呼びが掛かった時には自坊を空けて被災地の浄土宗徒の為に赴いても檀信徒が不安にならないよう心がけて日々精進して参ろうと思います。



研修旅行（桜島にて）



家族親睦会

## 『中郡組』 会長 小山 英紹

昨年度中郡浄青では3月9日に伊勢原大寶寺様で三万遍念仏会を行いました。組浄青では3度目になりますが、年々集まる人数が少なくなっています。日ごろ三万遍の念仏をひとりでお称える事はまず無いと思います。このように浄青会員がいるからこそこのような有難いお念仏会が出来るのだと毎回実感致します。

また鎌倉組當間浩昭上人をお迎えいたし、法式講習会を行ない引啓法要を勉強してきました。1年間で数回の講習会でしたが、少しずつでは有りますが会のメンバーも上達しています。非常に難しい「声明」ですので誰でもすぐにはお称え出来るものではありませんが、少しでも鎌倉光明寺に伝わる十夜法要を多くの人に伝えられればとの思いと「祈る」事の大切さを考え研修をして参りました。今年度の活動は引き続き法式講習会・国内・海外研修（月輪寺・韓国仏跡など）・家族親睦会等です。

また、3月11日に起きました東北沖大地震の被害で多くの方がお亡くなりになりました。被災地の方々に何か出来る事を今後考えて、中郡浄青の会員で托鉢やボランティアなど被災地のお役に立てる事を行なう予定です。そして今期残念ながら驚見宗信上人は中郡浄青を退会し高座組に異動されますが、新入会員で長善寺、一真如上人が加わり昨年同様総勢16名となります。若い会員が少ない中郡浄青ですので非常に有難く思います。本年は多くの事業が自粛となっておりますが、まずは自分たちが出来る事を行なっていくと思っています。今年度も宜しくお願い致します。

# 神 浄 青

## 『小田原組』 会長 石川 琢道

昨年度、小田原浄青では特別事業として①「浄土一宗の将来を考える」と題して勉強会と研修旅行、②会則の改訂、を行いました。①の勉強会では宗議会議員の宮林雄彦上人を講師にお迎えし、宗内の現状や課題等について親しく講義を頂き、宗政に対する見識を深めることができました。またそれを踏まえて京都宗議会の見学、併せて平等院・日野法界寺・木津川浄瑠璃寺など丈六・国宝の阿弥陀仏の参拝をいたしました。

東日本大震災の発生に伴い、急遽、組内寺院において募金活動を開始。年度末までに百万円を超える浄財を被災地に送金することができました（今年度も継続予定）。

今年度は研修事業として、後藤真法上人を講師にお迎えし、パネルシアター法話の勉強会を開催。また会員の実演の機会も設けて研鑽を深め、実際に檀信徒の前での実践を目標とします。

また、パソコンの勉強会も開催。日頃の寺院活動においてメール等を使う機会は少ないかと思いますが、簡単なことではありますが、一堂に会して勉強して共通認識を持つことにより、会員内のネットワーク構築（通信費節約）に努めます。今年度は、新入会員に西念寺・北邨太賢君を迎え、新たな小田原浄青がスタートします。また小田原駅構内にて毎年恒例の托鉢も実施予定です。

本年も充実した活動をしてまいりたいと思います。よろしくお願い致します。



京都研修旅行（知恩院三門前にて）

## 「精進道場」報告・予定

今期、神浄青では活動テーマを「精進不断」を受け継ぎ、伝えてゆくために」と掲げました。会員の資質向上をはかることを目的に、研修会を「精進道場」と名づけ、平成二十二年度は宗乗・法式・余乗を内容に開催いたしました。

まず、六月と九月の二回にわたり宗乗を内容に「第一回・第二回精進道場」を開催いたしました。当会OBの慶野匡文先生を講師に、「浄



慶野匡文先生

土宗教師の責務」と題し、浄土宗教師として我々がなすべきことを再確認し、浄土宗のみ教えをどのように受け継ぎ、どのように発信していけばよいかを研修いたしました。多くの会員のご参加をいただき、皆、熱心に拝聴し、研鑽を深めました。ご講義いただいた内容を自坊での法話等に生かしている方も多いようです。

また十二月に余乗としまして「第三回精進道場」を、講師に山添真寛上人をお迎えし、忘年会前に紙芝居と人形劇の上演をいただきました。会員OB併せ五十七名の参加を頂き、楽しいひと時を過ごしました。

また三月に「第四回精進道場」(法式)を開催する予定でしたが、東日本大震災の影響により、中止とさせていただきます。

今年度は宗乗・法式を内容に開催する予定です。

「第五回・第六回精進道場」(宗乗)は大正大学専任講師・曾根宣雄先生を講師にお迎えし、現代社会に、法然上人とそのみ教えについてどのように伝えてゆけばよいかを五月と九月の二回にわたり、お話しいただきます。

三月に発生した東日本大震災によって人心が動揺している今日、宗教がその存在意義を問われていると思います。「精進道場」での研修を



山添真寛上人

通じ、会員ひとりひとりが、今こそさらに自信を持って法然上人のお念仏のみ教えを発信していけるよう研修していきたいと思えます。

また来年には「第七回精進道場」(法式)を予定しております。法務にあたっての発声法と、合掌・礼・入退堂などの基本動作について、今年一度研修していきたいと思っております。

今年度も大勢の皆様参加をお待ちしております。

# 宗祖法然上人800年大遠忌念仏行脚

増上寺から知恩院 念仏の声高らかに

全行程踏破者 一 真成 会員

本年一月二十五日から二月二十三日までの三日間、約六〇〇キロの道程を念仏行脚で踏破された九名の中に、神浄青の一真成会員がいた。

全踏破者最年少の一会員は、副隊長としての責務も全うし、現代社会の中で生活する我々には想像もつかない偉業を成し遂げました。

神浄青が誇る、一会員に念仏行脚を振り返っての思いを編集委員会で聞いてみました。

Q・そもそも念仏行脚に参加しようと思ったきっかけは何ですか？

A・法然上人が御入滅されて800年の報恩の年、自分自身に何ができるのかと考えたときに、お念仏によりたくさんの人と触れ合うことができること、また自分にとってもあらためてお念仏の御教えを実感することができる良いきっかけと思いい参加させていただきました。

Q・ご師僧やご家族の方は何と？

A・はじめにこの念仏行脚に参加したいと話をもちかけたときは正直びっくりした様子でした。一ヶ月間にもわたる行事であるとともに、体力的にもたないのではと心配されましたが、記念のこの年にこのような行事に参加できることの意義を私以上に感じ取ってくれて、何を言うことも無くあたたかく背中をおしてもらえました。



一 真成 (ハジメ シンジョウ)  
中郡組 易往寺  
生年月日 S. 60. 7. 1  
加行成満 H. 18. 12

Q・当日までや初日の気持ちには？

A・前もって体力づくりをして備えようと思っていたのですが、気が付いたら前日になっており、あつという間に本番の日になってしまったように思いました。バタバタとしていましたが、いざ始まりましたが、緊張や不安ではなくたくさんの方のご支援がありリラックスしながら初日を終えることができました。

Q・一番苦しかった思い出は？

A・最初の一週間ほど地下足袋を履いていたのですが、普段履き慣れてないせいから右足に痛みがはしり、二倍に腫れてしまいました。足首もまがらないくらいになってしまいました。静岡浄青の会員の方のマッサージのおかげで回復することができ、それから快調に足をはこぶことができました。また雪の日が辛かったのは、と良くお声をかけていただいたのですが、辛くないといった嘘になりませんが、辛さ半分、先人の方の知恵と苦勞に比べたら音をあげている場合ではないと思いい、尊敬と感服の念を抱きながら歩いていました。

Q・一番嬉しかった思い出は？

A・先にも述べましたが、前半に足を痛めてしまったのですが、神奈川県を歩いているときは出身の地でもありますし、一緒に仕事や行事をさせていたでいる皆様がたくさん応援に駆けつけてくださり、全行程中で一番楽しく、一番元気に過ごすことができました。現に神奈川県を通り過ぎるまで足の痛みも忘れていました。気持ち良くスタートダッシュができました。

Q・他に印象深かったことは？

A・各教区にはそれぞれの良さがたくさんあり、その土地土地の趣も風習なども非常に感銘をうけました。しかしながら、どこへ赴いても同じであったことは、たくさんの僧侶の方のあたたかいご



支援はもとより、お寺や沿道で出迎えてくださったお檀家さんや信徒の方々と一緒にさせていただきながらお念仏を称えてくださったことがとても印象に残っています。

Q・知恩院に到着したときの気持ちは？

A・涙なみだの到着でした。一ヶ月間一人も欠けることなく全員で、また今まで携わってくださった方々全員の気持ちとともに成し遂げたことに感激の極みでありました。気が付くと一ヶ月の月日がたちましたが、走馬灯のように日々の思い出が湧き上がり、感涙となり表れていたと思います。

Q・この経験をどのように今後の浄土宗僧侶としての自身に役立てたいですか？

A・普段の生活をしているなかではなかなか出会うことのできない方々との出会い、また感じることのできない風情や習慣。そしてたくさんのあつのお念仏の御教えへの思いはこれから先、僧侶として生きていくなかで決して忘れることはないと思います。人と人とが触れ合うとき、お念仏をおてつぐこと素晴らしさをこれからも忘れず伝えていけたら何よりかと思いいます。

ありがとうございました。

一 会員の今後のより一層の活躍を期待します。

またこの念仏行脚では、神浄青においても、各組ごと事前にルールの安全・休憩所等の確認、昼食等準備、同伴車輛の手配等、様々な支援を行いました。

当日は一緒に行脚をし、浄土宗青年僧侶として、法然上人のお念仏のみ教えをリレーできました。

各会員の皆さん、お疲れ様でした。



## 浄土宗神奈川教区青年会 平成22年度 事業報告

月	日	内 容	場 所
4月	4日(日) 5日(月) 12日(月) 19日(月)	関プロ浄青御忌詠唱大会(7名) 三大本山・関プロ別時念仏会(14名) 第1回理事会 定期総会(58名委任状41通)・入会式(3名)・卒業式(0名)	大本山増上寺 大本山増上寺 大本山光明寺 大本山光明寺
5月	17日(月)	第2回理事会・新旧役員歓迎会(50名)	大本山光明寺・鶴ヶ岡会館
6月	14日(月)～15日(火) 21日(月)	第38回関プロ浄青総会・研修会(46名) 第1回精進道場[宗乘](42名)	大本山増上寺 大本山光明寺
7月	1日(木) 2日(金) 27日(火)～29日(木)	機関紙「浄青神奈川」第37号発行 第3回理事会・大本山光明寺開山忌前清掃奉仕(45名) 関東教化センター第63回夏期僧堂手伝い(31名)	浄土宗神奈川教区青年会 大本山光明寺 大本山光明寺
8月	26日(木)	全浄第6回全国大会(15名)	福井フェニックスプラザ
9月	10日(金) 30日(木)	第4回理事会・第2回精進道場[宗乘](48名) 神奈川教区長杯ソフトボール大会(68名) 担当:鎌倉組	大本山光明寺 新杉田ボウル
10月	7日(木) 14日(木) 21日(木)	大本山光明寺十夜前清掃奉仕(49名) 十夜托鉢(9名) 第5回理事会	大本山光明寺 大本山光明寺 大本山光明寺
11月	10日(水) 30日(火)	関プロ浄青スポーツ交流大会(30名) 担当:茨城教区 三大本山・関プロ別時念仏会(45名)	土浦市市民運動広場 大本山光明寺
12月	1日(水) 9日(木) 14日(火)	対内紙「NICE BOSE通信」第14号発行 第6回理事会 第3回精進道場[余乗](57名)・忘年会(70名)	浄土宗神奈川教区青年会 大本山光明寺 華正楼本店
1月	17日(月) 27日(木)～31日(月)	第7回理事会 浄土宗念仏行脚協力(69名)	大本山光明寺 神奈川教区
2月	7日(月) 9日(水)～10日(木)	宗祖法然上人800年大遠忌記念八百礼拝(78名) 全浄第36回総合研修会(16名)	大本山光明寺 ANAクラウンプラザホテル神戸
3月	16日(水)	第8回理事会(中止)・第4回精進道場[法式](中止)	大本山光明寺

## 第28回神奈川教区長杯争奪ソフトボール大会

第28回教区長杯争奪ソフトボール大会(鎌倉組浄青担当)は、雨天のためボウリング大会に変更となりました。

神奈川教区教化団長北邨賢雄上人はじめ教化団副団長・歴代会長・浄青OB諸大徳の方、また神浄青会員の皆様、約80名が神奈川県内各所より新杉田ボウルまでご来場いただき、久方ぶりとなったボウリング大会を和気藹々と楽しんでくださいました。ボウリング大会は大きな怪我也無く盛り上がりを見せ、チームアベレージ136

をたたき出した小田原組の優勝という結果で無事に終了いたしました。また、横須賀セントラルホテルでの懇親会でも、和やか且つ有意義に懇親を深められました。この大会を通じて、神浄青会員の懇親がより一層、深められたものと思っております。最後に、鎌倉組担当にあたり、足下の悪い中、ご遠方より多くの皆様にご参加いただきましたこと、鎌倉組浄青一同、心より感謝を申し上げ大会報告といたします。誠に有難うございました。

鎌倉組 関谷 泰然



## 平成23年度浄土宗神奈川教区青年会定期総会

平成23年4月27日、大本山光明寺にて「平成23年度浄土宗神奈川教区青年会定期総会」が行われました。大殿にて回願法要後、書院にて森本副会長の開会宣言により総会が開会されました。

第20期當間会長の挨拶の後、神奈川教区より夏見邦夫教区長、富田浩雅教化団副団長のご祝辞、ご挨拶を頂きました。

議長には、会長より鎌倉組當間浩昭会員が指名され、平成22年度事業報告・同会計報告、平成23年度事業計画案・同事業予算案と審議され、共に承認されました。

議長降任後、各組から昨年度ならびに今年度の事業紹介の後、卒業会員、新入会員への記念品贈呈がありました。

その後、石川、相馬両監事より総括があり、山本副会長の閉会宣言にて無事閉会致しました。

事務局長 伊香輪 一暁



## 計 報

小松崎成法上人(三浦組東漸寺第三十四世)

平成二十三年四月二十三日ご遷化 世寿六十歳

西蓮社向譽上人照阿説導成法大和尚  
神浄青役職歴 第八代会長、副会長、監事

大橋定敏上人(港北組大蓮寺副住職)

平成二十三年五月一日ご遷化 世寿四十五歳

香蓮社明譽上人戒阿智照定敏老和尚

神浄青役職歴 事務局長、夏期僧堂企画実行委員長、書記  
全浄青役職歴 副理事長、参与、幹事長

おふたりのご業績に心から敬意を表すとともに神浄青へ賜りましたご厚情に感謝し謹んでお十念申し上げます

# 卒業会員挨拶



港南組 正覚寺  
石川 参天

この度、浄土宗神奈川教区青年会を卒業致します港南組正覚寺の石川参天です。浄青会に在籍して早25年、平成の世がそのまま浄青活動であったように思われます。また元祖上人800年遠忌正当の年に立教開宗された同じ43才を迎え卒業できる事は大変に感慨深い思いです。浄青活動では和合に始まり、自行を経て化他行へと歴代会長理念の下、多くの研鑽を同輩の皆様と積ませて戴いた事は私の宝物です。浄青で育まれた「自信教人信」を後の大きな糧として念仏伝弘に精進して参ります。皆様と出会い共に歩めた事に心より感謝申し上げます。



港南組 光安寺  
長谷川 昌史

浄青から卒業する年になったと思うと、もうそんな年齢なんだと思います。仕事をしていたので若いうちから浄青活動に積極的に参加できませんでした。退職後なるべく参加をするように努めてきましたが、いよいよ卒業となってしまいました。振り返ってみると同級生がひとりしかいなかったのですが組外の先輩や後輩と知り合いが増えたことが今の財産だと思います。大震災や原発の問題で大変な時代がくるかも知れませんが、「さすが神浄青！」といわれるような活躍を期待します。



小田原組 城源寺  
古林 哲茂

3月11日に発生しました東日本大震災で犠牲になられた方々へ、お念仏をご回向申し上げるとともに暗雲を払って一日も早く復興の日が訪れることを祈念します。浄青活動についてですが、会長である當間さんには少僧都養成講座で散々お世話になったにも関わらず千葉に住んでいることもあり、ほとんどご協力出来なかったことが申し訳なく思います。陰ながら青年会の益々のご活躍を期待しております。



小田原組 長楽寺  
乃美 浩一

誰もが春を心待ちにしていたあの日、地は裂け、海は狂い、家も街も、そして人までも、象あるもの全てを押し流してしまいました。先人達はこうした自然の猛威の前に、頭を垂れ堪え忍んできたのだと思わずにいられません。しかし、たとえどんな猛威であっても、人の心と言葉までは流すことはできません。「人間らしく生きる事」この思いはどのような境遇であったとしても無くなる事はないでしょう。今仏教徒である我々に出来る事、成すべき事、青年会の将来に期待しております。長い間ありがとうございました。

## 新入会員紹介

よろしくお願ひします



- ① 林田 成徳(ハヤシ ナオタカ)
- ② 昭和63年7月27日
- ③ 平成21年12月
- ④ 京浜組 見光寺
- ⑤ A型
- ⑥ 肉
- ⑦ しげ
- ⑧ 散歩
- ⑨ 渡哲也



- ① 森 大悟(モリ ダイゴ)
- ② 昭和61年9月29日
- ③ 平成22年12月
- ④ 港北組 浄流寺
- ⑤ AB型
- ⑥ 寿司
- ⑦ ダイちゃん
- ⑧ 育児、大型車運転
- ⑨ 仲代達夫



- ① 横川 寺俊(ヨコガワ テンジュン)
- ② 平成2年3月17日
- ③ 平成22年12月
- ④ 港北組 長円寺
- ⑤ B型
- ⑥ 卵料理、辛い食べ物
- ⑦ ヨコちゃん
- ⑧ カラオケ
- ⑨ 板野友美



- ① 君島 広大(キミジマ ヒロダイ) 第20期マスコットキャラクター
- ② 平成元年4月25日
- ③ 未成満
- ④ 港南組 大誓寺
- ⑤ AB型
- ⑥ 焼肉
- ⑦ 大、きみちゃん
- ⑧ 将棋、球技
- ⑨ 吉高由里子



- ① 冨田 章智(トミタ アキヒロ)
- ② 平成4年4月26日
- ③ 未成満
- ④ 鎌倉組 西念寺
- ⑤ A型
- ⑥ 豆腐
- ⑦ トミー
- ⑧ 卓球
- ⑨ 上戸彩



- ① 伊藤 浩信(イトウ コウシン)
- ② 昭和48年8月3日
- ③ 平成21年12月
- ④ 鎌倉組 聖徳寺
- ⑤ O型
- ⑥ 玄米(無農薬)、大豆(遺伝子組み換えでない)
- ⑦ ありません
- ⑧ 読書(歴史書〜コミックまで様々)、TRPG
- ⑨ おりません



- ① 一 真如(ハジメ マキコ)
- ② 平成元年2月15日
- ③ 平成21年12月
- ④ 中郡組 長善寺
- ⑤ O型
- ⑥ 高カロリーな物
- ⑦ 真如
- ⑧ 最近ゴルフをやってみたいと思っています
- ⑨ 昔の黒柳徹子さんは綺麗だと思います



- ① 北邨 太賢(キタムラ タケン)
- ② 昭和63年11月22日
- ③ 平成21年12月
- ④ 小田原組 西念寺
- ⑤ AB型
- ⑥ 杏仁豆腐
- ⑦ たいけん
- ⑧ サッカー、フットサル
- ⑨ 佐々木希

- ① 氏名(フリガナ)
- ② 生年月日
- ③ 加行成満
- ④ 所属寺院
- ⑤ 血液型
- ⑥ 好きな食べ物
- ⑦ ニックネーム
- ⑧ 趣味、特技
- ⑨ 好きな芸能人



## 東日本大震災救援義捐金托鉢

去る、4月23日鎌倉大仏殿高徳院並びに5月11日川崎駅前銀柳街において、東日本大震災救援義捐金托鉢を行いました。両日とも悪天候にもかかわらず、多数の参加があり被災地支援へのご協力を呼びかけました。皆様の震災への関心も高く多くの浄財をお預かりしました。当会は震災で亡くなられた皆様へ

謹んでお念仏をご回向申し上げ、被災された皆様に対し心よりお見舞い申し上げます。また、被災地の皆様が一刻も早く元の生活を取り戻せます様、今後も全国浄土宗青年会や神奈川教区とも連携し、継続的な支援を行ってまいります。浄土宗神奈川教区青年会 会長 當間伸行

## 平成23年度 浄土宗神奈川教区青年会 事業計画

月	日	内 容	場 所
4月	4日(月)	緊急理事会	大本山光明寺
	22日(金)	第1回理事会	大本山光明寺
	27日(水)	定期総会・入会式・卒業式	大本山光明寺
5月	31日(火)	第2回理事会・第5回精進道場[宗乗]	大本山光明寺
6月	22日(水)	関プロ総会	大本山増上寺
	29日(水)	第3回理事会・大本山光明寺大御忌法要前清掃奉仕	大本山光明寺
7月	1日(金)	機関紙「浄青神奈川」第38号発行	浄土宗神奈川教区青年会
	27日(水)～29日(金)	関東教化センター第64回夏期僧堂手伝い	大本山光明寺
8月	30日(火)	全浄第7回全国大会	那覇パシフィックホテル
9月	9日(金)	第4回理事会・第6回精進道場[宗乗]	大本山光明寺
10月	上旬	第5回理事会・大本山光明寺十夜前清掃奉仕	大本山光明寺
	14日(金)	十夜托鉢	大本山光明寺
	24日(月)～25日(火)	全浄大遠忌大別時念佛会	総本山知恩院
	31日(月)	関プロ別時念佛会	甲斐善光寺
11月	26日(土)	神浄青大別時念佛会	大本山光明寺
	28日(月)	神奈川教区长杯ソフトボール大会	担当：三浦組
12月	1日(木)	対内紙「NICE BOSE通信」第15号発行	浄土宗神奈川教区青年会
	15日(木)	第6回理事会・臨時総会・忘年会	未定
1月	24日(火)	第7回理事会・御忌別時念佛会	大本山光明寺
2月	9日(木)～10日(金)	全浄第37回総合研修会	総本山知恩院
	未定	第7回精進道場[法式]	大本山光明寺
3月	未定	御遺跡参拝(2泊3日)	未定
	未定	第8回理事会	大本山光明寺

※随時救援活動

### 神浄青 大別時念佛会



開催日 11月26日(土)

会 場 大本山光明寺



神浄青ホームページ  
<http://www.jodo-kks.com>

浄土宗神奈川教区青年会

検索



Jodo-shu Youth Association of KANAGAWA

活動テーマ「精進不断」～受け継ぎ、伝えてゆくために～

神浄青